

## 長岡市長記者会見要旨

日 時：令和3年8月6日（金）午後3時30分から

会 場：アオーレ長岡東棟4階 大会議室

【会見項目：希望する全ての方へ、11月末までの接種完了を目指し  
64歳以下の方の接種の予約受付を再開します】

（市長）

長岡市の64歳以下の方の新型コロナウイルスワクチンの接種を再開します。

国からの供給減に伴い予約受付を一時停止していましたが、一定程度、確保の目途が立ちましたので、8月7日から個別接種の予約受付を順次再開するとともに、8月20日から順次、集団接種の予約受付を開始します。

これまでに職域接種や個別接種のほか、県の大規模接種センター中越会場などで順次、ワクチン接種を進めており、今回の予約受付再開により、接種を希望するすべての市民の方が11月末までに2回の接種を完了できるよう、ワクチンの供給量を踏まえながら、長岡市医師会をはじめ、市内医療機関と連携して接種体制の強化を図っていきたいと思っています。

64歳以下のワクチン接種見込みについて説明します。接種の対象者となる12歳から64歳までの市民を15万2,000人と見込んでいます。このうち8割の方が接種を希望され、接種者は12万1,600人と見込んでいます。個別接種や集団接種、大規模接種、職域接種を併用して11月末までに希望者全員に接種する計画です。

年齢区分ごとの予約及び接種開始時期について説明します。個別接種については市内64カ所の医療機関で、8月7日以降順次、予約受付を開始し、8月16日から接種が始まります。集団接種については、8月20日に高齢者と基礎疾患のある方の予約受付を開始し、21日から順次、年齢層の高い方から段階的に予約受付を開始します。接種は9月4日から開始します。

9月・10月分の集団接種については、さいわいプラザ、長岡赤十字病院、長岡中央総合病院の3会場で9月4日から6週間実施します。会場の設定については、ワクチンの供給量に合わせたことと、若い世代の方は接種後の副反応の発生頻度が高いため、医師会と相談した中で、市内基幹3病院が携わって安心・安全な接種環境ができる3会場に限定しました。

集団接種の予約方法については、65歳以上の方の接種予約と同様に、市ホームページ、市公式ライン、市コールセンターで受け付けます。

また、今回は支所地域の集団接種会場がないため、移動支援として各支所とさいわいプラザ会場を結ぶ、無料のシャトルバスを運行します。1日3便の計画で乗車予約は不要です。さいわいプラザ会場の集団接種を予約した上でご利用いただきたいと思います。

以上の内容について、市民の皆様には、8月10日に市政だより号外を発行し、市内全世帯に町内会を通じて配布するほか、市ホームページやSNSなどで広くお知らせします。

**(記者)**

今回の予約受付の再開は、国や県から具体的なワクチン供給スケジュールが示されたことによるものですか。

**(市長)**

8月の供給スケジュールは示されていますが、9月以降については示されておらず見込みで計画しています。

**(記者)**

現在、確保できているワクチンの量を教えてください。

**(新型コロナウイルスワクチン接種事業担当部長)**

8月分は1回目の供給で3万2,760回分、2回目の供給で3万3,930回分の計6万6,690回分が確保されています。

9月分はまだ示されていませんが、過去の実績などから3万5,000回分程度の供給見込みを立てています。

**(記者)**

現在の接種率を教えてください。

**(市長)**

8月5日現在の長岡市の接種率について、65歳以上で1回目が91.2%、2回目が85.3%です。64歳以下で1回目が29.4%、2回目が15.4%です。市民全体としては、1回目が51.8%、2回目が40.8%です。

**(記者)**

これまで、64歳以下の長岡市民がワクチン接種を受けようとしたとき、県が設置している朱鷺メッセの大規模接種会場に行く必要があるという非効率な状態でした。中越の大規模接種会場で受けられるようにはできなかったのでしょうか。

**(市長)**

長岡市としても、中越の大規模接種会場であるディアプラザ長岡で接種を受けられるよう県に要望しました。しかし、理由は詳しく分かりませんが、できないとの回答がありました。

**(記者)**

県内で感染者数が増加している状況で、64歳以下のワクチン接種を再開できたことに対する市長の所感をお聞かせください。

(市長)

市内でも感染者が増え始めている中で、感染や重症化のリスクを減らすことができるワクチン接種について、64歳以下の方の接種を本格的に再開できるということは、市民の皆様にとって良いお知らせができたと思います。接種を希望される方は、積極的に申し込んでいただきたいと思います。

(記者)

国が新型コロナウイルスのまん延を防止するため、ワクチン接種を進めるように呼び掛ける中で、実際に接種を担当する市町村側の体制ができていないというような言い方がありましたが、市長はどのように思われましたか。

(市長)

自治体の接種体制の問題ではなく、ワクチン供給の問題だということは間違いありません。自治体は短期間で、すべての希望者へ接種する体制を整えるべく努力していたと思います。

特に長岡市の場合は、長岡まつり大花火大会の開催を目指し、それまでに希望者全員に接種すべく今年の1月頃から医師会と作戦を練りながら、7月中には接種を完了できるよう準備をしてきました。しかし、ワクチンの供給開始が遅れて、やむを得ず年内の接種完了に計画を変更しました。その後、急に国から7月末までに高齢者の接種を完了するという話があり計画を前倒しました。そして、先般の供給不足により接種予約を一時停止するなど二転三転しました。

ワクチンの供給さえしっかりしていれば、長岡まつり大花火大会もできたという思いはあります。

(記者)

県が設置している朱鷺メッセの大規模接種会場の長岡市民卒の予約状況を教えてください。

(市長)

残り約100人分です。

## 【その他の項目】

(記者)

デルタ株の影響により感染が広がっている中で、感染者を減らしていくために市町村ができることをどのように考えていますか。

(市長)

ワクチン接種を進めることが第一だと考えています。

また、新型コロナウイルスの対応には医療体制を整えることがとても重要だと考えており、昨年から繰り返し、市内基幹3病院に感染者の受け入れのための医療機器の整備を支援してきました。

(記者)

お盆の帰省シーズンを迎えるにあたり、全国知事会が国に対して、国民に帰省を控えるよう呼び掛けて欲しいと要望するなどしていますが、長岡市としては、市民や帰省者にどのようなメッセージを発信していきますか。

(市長)

明日からの3連休とお盆休みも、気を緩めず危機感を持って行動し感染防止対策を徹底していただきたいというメッセージを発信していきます。もし帰省を控えなければならない状況であるなら、全国的に緊急事態宣言を出したうえで国が呼び掛けなければ、うまくいかないと考えています。